

会 議 録

会議の名称	令和 8 年度 第 2 回 所沢市いじめ問題対策委員会
開 催 日	令和 8 年 7 月 3 0 日 (木) 1 3 時 3 0 分から 1 5 時 3 0 分
開 催 場 所	所沢市役所 高層棟 6 階 6 0 4 会議室
出席者の氏名	赤堀 侃司 ・ 及川 みさ子 ・ 桂川 泰典 ・ 亀井 弘泰 神田 信彦 ・ 木村 幸子 ・ 小林 治 ・ 高田 美智子 武弓 清貴 ・ 美甘 寿規 ・ 山村 顕子
欠席者の氏名	
議 題	3 協議及び報告 【公開】 (1) 所沢市いじめ未然防止プログラムの報告について (2) 学校いじめ防止基本方針実行度評価について 【非公開】 (3) 市内学校の状況について
会議資料	・ 次第 ・ 資料 1 いじめ未然防止プログラム報告 ・ 資料 2 学校いじめ防止基本方針実行度評価について
担当部課名	教育委員会 教育長 岩間 健一 学校教育部 部 長 吉川 誠 次 長 伊東 真吾 学校教育課 担当参事兼課長 御菩薩池 好行 主幹兼健やか輝き支援室長 岩土 陽裕 指導主事 今井 知博 指導主事 佐瀬 孝太郎 指導主事 小松 大祐 指導主事 松田 裕介 心理士 島 吉孝 生徒指導・いじめ問題対策員 伊勢 浩明 教育センター 担当参事兼所長 大庭 真紀子 主幹兼教育相談室長 加藤 法祥 指導主事 大森 恵 一連絡先— 学校教育課 04-2998-9238 教育センター 04-2923-2396

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
事務局	1 開会 会議の開会が宣言された。
事務局	・条例第6条に基づき、いじめ問題対策委員会の会議は委員の過半数の出席により成立した。 ・傍聴希望者なし。
委員長	・本会議は、所沢市情報公開条例第7条が規定する非公開情報のうち、第2号の個人に関する情報が含まれていることから、同条例第25条第2号に基づき、非公開にしたい旨の発議があり、出席委員全員が賛成し、協議及び報告事項のうち（3）は非公開で審議されることに決定した。
事務局	・会議録の記録方式について「要約方式」で記録すること、議事録の確定方法は委員長の承認により確定することを、出席委員全員が賛成し、決定した。
教育長	2 教育長挨拶 所沢市教育委員会・岩間健一教育長が挨拶を述べた。
事務局	3 協議及び報告 （1）所沢市いじめ未然防止プログラムの報告について ・市のいじめ未然防止プログラムの一環として、6月22日に研究協力校である南小中学校で実施された授業研究会について報告した。この研究会は、専門家の意見を取り入れ、より実効性の高い授業プログラムを開発することを目的として開催され、日本生徒指導学会会長の八並光俊氏が講師を務めた。 ・授業は小学6年生を対象に、「いじめの決まりを知り、みんなでいじめを防止しよう」というねらいで行われた。授業では、いじめ防止対策推進法（第2条、第4条）や学校いじめ防止基本方針に触れ、架空の事例を用いたグループワークを通じていじめに当たるかどうかを議論し、最後は各自が「いじめ防止宣言」を作成した。 ・講師からは「いじめ防止対策推進法では定義（第2条）と禁止（第4条）を伝えることが重要」、「基本方針は保護者にも周知すべき」、「教師自身が法律を正しく理解する必要がある」、「授業で『我慢できない』といった主観的な言葉や『ものまね』などの具体例を使う際は慎重であるべき」という4点の指導・助言があった。教育委員会はこれらの示唆を、作成済みの7つの授業プログラム全てに反映させた。今後の予定として、2学期には並木小学校で生徒指導主任も参加する研究会を行い、さらに研究協力校では「学校風土調査」を実施して客観的なデータに基づく改善を目指す方針を示した。
委員 事務局	・指導者の助言にあった「言葉の慎重さ」の具体的な意味について質問があった。 ・授業案に含まれていた「我慢できないほど」といった表現の危険性が指摘されたと回答した。また、授業案は市教委が作成したものを基にして、各学校の教員が児童の実態に合わせて工夫していることを説明した。

事務局	(2) 学校いじめ防止基本方針実行度評価について ・市内各校で実施した「学校いじめ防止基本方針」の実行度を自己評価する取組について報告した。令和7年度の評価結果は、前年度と比較して全32指標で平均値が向上したものの、指標4(3)「児童会・生徒会活動などを通して主体的にいじめ問題に関わる取組を行った」と指標5(3)「教職員は、いじめ発見チェックシートを用いて、早期発見に努めた」が依然として市全体の課題であることが示された。この実行度評価は、達成度に応じて0%から100%までを5段階で評価する方式が採用されている。 ・令和8年度に向けては、教職員全体の意識向上を図るため、職員会議での評価結果の共有や、年度当初から適時評価を行うといった改善策を提案した。特に課題となっている指標4(3)については、生徒指導主任研修会で各校の取組事例(スローガン作成、動画制作など)が共有されたことを報告した。
委員	・評価が低い指標の原因分析を求める意見が出された。特に「いじめ発見チェックシート」の活用が進まない点について、「教員が記入する意義を実感できる内容に改めるべき」と指摘があった。 ・評価指標の凡例を資料に明記することや、評価指標「総合判定」のA、Bといったランク付けの意味について質問があった。
事務局	・各学校では毎学期いじめのアンケートを実施している。その合間で「いじめ発見チェックシート」を用いることで、いじめの早期発見、早期対応ができると考えることを説明した。 ・5段階評価の評価割合についての記載をするなど資料改善について伝えた。
事務局	【非公開】 (3) 市内小中学校の状況について
事務局	4 連絡 ・第3回委員会は令和8年10月27日(火)13:30から市役所6階604会議室、第4回委員会は令和9年2月16日(火)13:30から開催予定であることを連絡した。
事務局	5 閉会